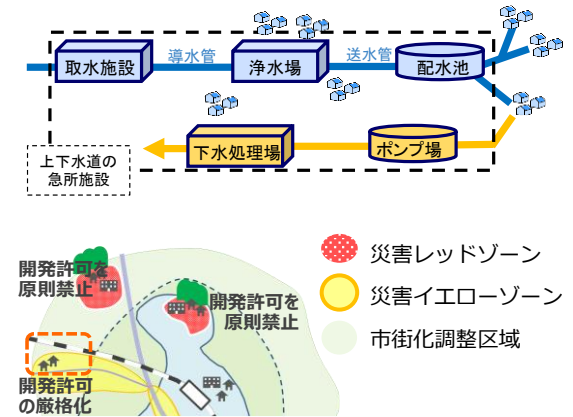


# 令和7年度 国土交通省・公共事業関係予算のポイント（概要）

## 1. 防災・減災、国土強靱化の推進等

- 公共事業関係費を安定的に確保（**6兆858億円**（対前年度+30億円））。  
その中で、防災・減災、国土強靱化を推進。

- **能登半島地震等の教訓を踏まえた制度改正・体制整備**  
（例：上下水道システムの急所施設の耐震化等を計画的・集中的に進めるための個別補助事業を創設）
- **規制・誘導手法の活用などソフト対策との一体的取組**  
（例：災害危険性のある一定の地域を住宅新築支援の対象から原則除外）
- **新技術の開発・普及**（例：線状降水帯の予測精度向上等に資する研究予算を倍増（**16億円**（対前年度+8億円）））



## 2. 地方創生や生産性向上・成長力強化

- 国際観光旅客税も活用し、**地域の自然環境や文化資源を活用した観光コンテンツの充実**などを推進。  
（**579億円**（対前年度+39億円））
- 国際コンテナ戦略港湾等の機能強化**や、**空港の国際競争力の強化**などを推進。



訪日外国人旅行者数  
6,000万人目標



自動航空機牽引機

## 3. 国民の安全・安心の確保

- 「海上保安能力強化に関する方針」を踏まえ、海上保安庁予算・定員を大幅拡充し、その中で、  
（**2,791億円**（対前年度+180億円））
- **無操縦者航空機の5機体制の構築**
- **大規模災害等に活用可能な多目的巡視船の整備**
- **勤務環境改善に資する宿舍整備**



無操縦者航空機



多目的巡視船